

# オープン プラン

子どもは

## てんさい



加藤学園幼稚園 オープンプランコース

# オープンプランでは

**“今だからこそ、たくさんの経験を！”**

人間形成で、幼児期の今はとても大切な時期です。

どれだけ “子どもの成長に関わる経験” を

この幼児期に、体験したかによって、

今後の成長に大きく影響してきます。

オープンプランコースでは…

## ★オープンな保育★

ひとことでは『壁がない』という事です。

では、どんな事が『壁がない』のでしょうか？

### 1、《保育室の壁》がありません！

保育室の壁がないことで、様々な個性を持った子ども達同士が関わり、影響し合い、色々な経験ができます。お互いの信頼関係を築くこともできます。また、保育室に広い空間ができることで保育内容に応じて机や椅子の配置を自由に変え、子ども達の興味関心が高まる環境を設定しています。

### 2、《子どもと子どもの壁》がありません！

学年の壁をなくし縦割り保育を行うことで、子どもと子どもの壁がなくなり幼稚園という環境で兄弟意識が芽生えていきます。異学年への尊敬や憧れる気持ちが生まれ、相手を『思いやる』気持ちが育っていきます。

### 3、《保護者と保育者の壁》がありません！

保護者からの相談や意見に「保育者として、ベストを尽くした対応を！」を心掛けることにより、保護者と保育者の壁を取り除きます。家庭と幼稚園で生活する中で共通の理解を持ち、“子ども達！保護者の皆様！”が、安心して過ごせる環境づくりに励んで参ります。

### 4、《保育者間の壁》がありません！

ひとりの保育者ではなく、2人・3人、そして、6人の保育者の目で、一人ひとりの子ども達を見つめていきます。(チームティーチング) また、保育者間でも強い信頼関係を持ち、ひとつのチームとして進めていきます。

《保育室の壁》

《子どもと子どもの壁》



## ★縦割りでの保育で★

年齢が違う子ども達が関われる環境

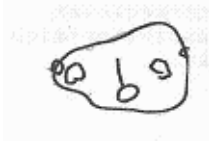
子ども同士が関わり、子ども達から発信する

あそびの世界！

### 3学年の縦割りファミリー（小グループ）

縦割りの活動を通す事で、各学年の子ども達が育つ…姿って？

年少さんは・・・初めての集団生活の場で、荷物を持ってくれたり、分からない事を教えてくれる



『やさしいお兄ちゃん・お姉ちゃん』に頼る事で

**安心する気持ち** や **信頼する気持ち** が育ちます。

年中さんは・・・遊びやお世話をする。目立つべく年長の姿を間近で見る事で



**憧れる気持ち** や **真似したい気持ち** が育ちます。

年長さんは・・・『小さい子が見ているから格好よく』の意識が高まり自然に責任感がでてきます。また、小さい子と関わることで



**自立心** と **思いやる気持ち** が育ちます。

# ★縦割りで関わる活動★

縦割りの「つながり」があるからこそ共通のテーマを！

## 《オープン プラン年間/月間テーマ》

年間テーマ…『つながり』いろんな環境や人とつながろう！

◎たくさんの事を経験し、たくさんの人と関わる事で  
『思いやり』『感謝の気持ち』『考える力』を養います。

月間テーマ…オープン全体で月ごとのテーマを決めて学年にあったクラスの活動を行います。

例：4・5月…仲間／6・7・8月…水／9月…ちから  
10・11・12月…生きる（自然）／  
1月・2月・3月…きずな

## 《富士山の活動》



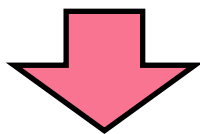
すぐ近くで当たり前のように聳え立つ富士山。その魅力に気付いていますか？！

身近にありながら、近くにありすぎてその雄大さに気付かずにいる人が多いのでは…

そんな思いから始まった富士山の活動。学年にあった活動や投げかけをし、富士山に目を向けています。活動を続けた今では、日常の遊びや会話の中で富士山の話が自然に出るようになりました。子ども達がこれからも富士山の素晴らしさを感じ生活できるよう活動の充実を図っていきます。

世界に誇れる富士山がすぐそこに！

## 《保護者と保育者の壁》



## ★Team Teaching★

ティーム ティーチング  
保育者が、子ども達を理解し

その子にあったベストな対応

## ★保育計画★

子どもに合った保育計画と継続した保育

最初（できなかつたけど…）



2回目（すこしできるようになった）



3回目（できた喜びから自信へ）



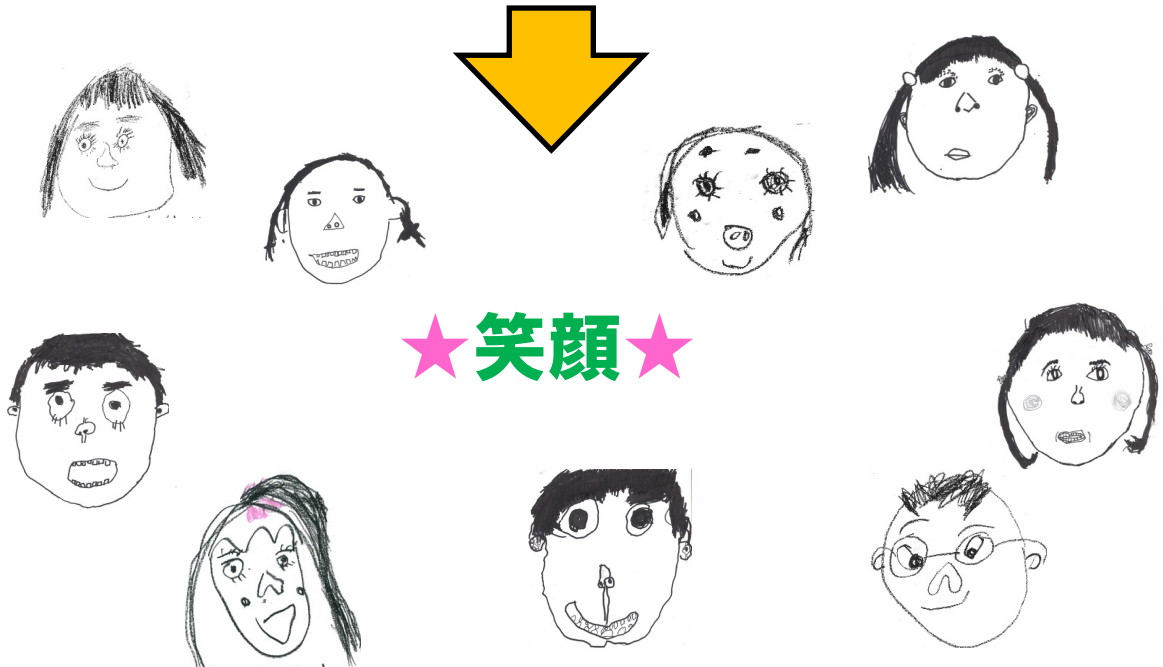
次への意欲

『私たち保育者は・・・子ども達に・・・』

自ら意欲をもって取り組める子

子どもたちが自ら『なんでだろう』『やってみたい』『やりたい』と好奇心から追究する姿。そして遊んで学べる楽しい環境を作っていきます。

《保育者間の壁》がありません！



親子が楽しいと思える幼稚園

## 家庭と幼稚園での共通理解

幼稚園に来ていただくお子様は、〇〇が得意な子・〇〇が苦手な子・〇〇が好きな子・〇〇が嫌いな子…それぞれ違う子ども達です。

幼稚園という集団生活の場で個性をいかしながら成長を見守り、指導していきます。

保育室の  
壁がない

子どもと子どもの  
壁がない

保護者と保育者の  
壁がない

保育者間の  
壁がない

## オープン保育

のびのびした環境の中で、柔軟な心と  
他を思いやる気持ちを養い、  
健やかで健全な子が育つ！！



# ★カリキュラム★

『子どもは天才』

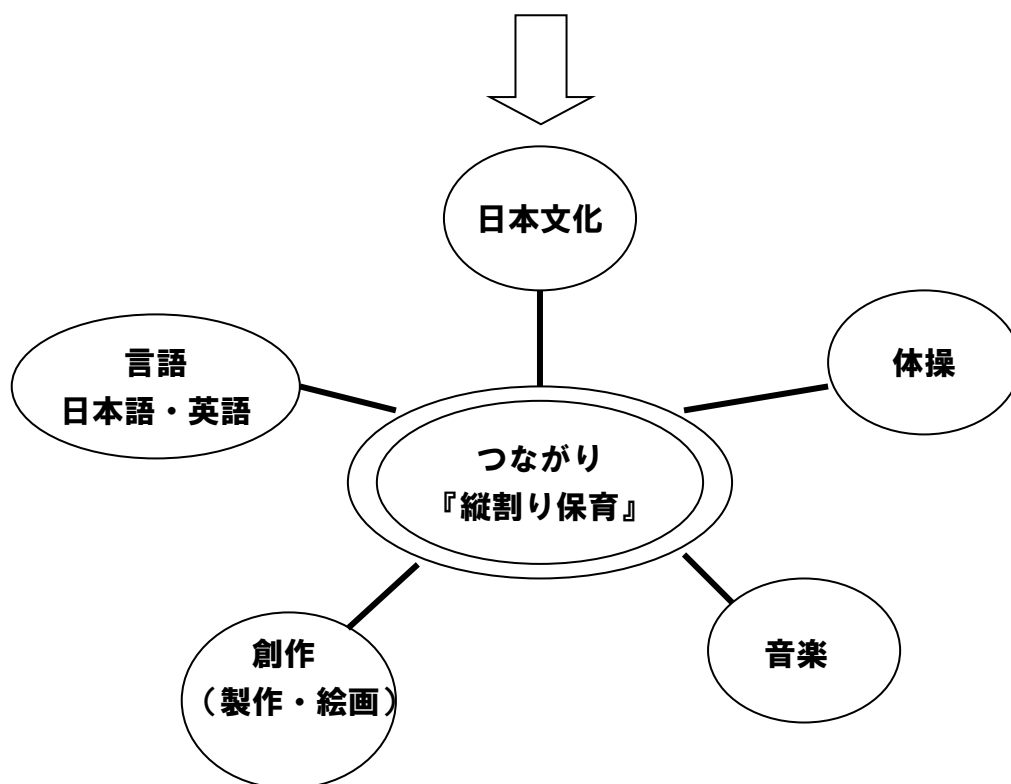
まさに子ども達は『天才』です。大人のものさしで、

子どものできる、できないを決めていませんか？

子どもは未知の力を誰もが持っています。

与えれば与えるほどスポンジのようにどんなことも吸収していきます。

## そこで！大きな5つのカリキュラム



## 日本文化

日本の四季や文化はもちろん、日本人としてのマナーや礼儀を日常生活からしっかりと伝え指導していきます。また、あいさつは私達大人が見本となり「おはよう」「さようなら」「ありがとう」「ごめんなさい」「いただきます」「ごちそうさま」を誰にでも自然に言えるよう心がけていきます。

## 言語（日本語・英語）

園生活で、母語である日本語の正しい使い方を身につけていきます。

また、オープンプランコースでの英語活動を、年少クラスは週に2回／年長クラスと年中クラスは週に3回の時間を設けております。普段の英語活動ではクラスのテーマに沿った製作活動を英語でも取り入れて進めていきます。

## 体操

体を動かす環境が減ってしまった今、体を動かす大切さを伝えていきます。毎週木曜日の体操専門講師による『ヤマスポーツ』の体操教室に加え、週に1回担任が学年に合った体操を行います。この体操では、『できる／できない』ではなく、子ども達には挑戦する気持ちを持ってほしいと考えています。

そして、できなかった事ができるようになった喜びを感じ、子ども達が意欲的に体を動かし、運動機能を伸ばしていく機会にしていきたいと思えます。

## 創作（製作・絵画）

何気ない遊びの中で絵を描いたり、工作をしたりと子ども達は様々な表現で物を作り上げます。この表現力をもっと高め、広げていけるように学年に合った表現方法を明確にし、クラスの活動の中で、ねらいを持って進めていきます。

（例：絵画では、年少…線をなぞる。年長…ひと筆描きで星型が描ける。といったように、それぞれの成長段階に合った表現方法を身につけられるような活動を取り入れていきます。）

## 音楽

朝の会・帰りの会の時間で、歌はもちろんリズム打ちなど音を身近に感じる環境を作っていきます。また、年長では運動会で披露するマーチング活動を高校のグラウンドで行います。集大成となる素晴らしい姿が見られます。

# ★専門の先生による指導★

**英語教室**・・・年少児は週2回／年中児・年長児は週3回

1967年に設立された日本の児童英語教育の草分け的存在である『早期英語教育研究室』が指導します。日本人とネイティブ教師とのチームティーチングで、コミュニケーションの基礎を作り、英語の楽しさを体験します。

歌や手遊びなどから、まずは耳から入ってくることに抵抗をなくし、聞く力を伸ばします。また、希望者のみ週1回 JES(ジュニア イングリッシュ スクール)を実施しています。



**体操教室**・・・週1回 (ヤマスポーツクラブ)

子どもの成長、年齢に沿ったプログラムを経験豊富な専門の講師が指導にあたります。巧みな投げかけから笑いの絶えない楽しさ、かつ適格なステップを踏み、運動能力を伸ばしていきます。



## 心身とも強い子に！

近年、メディアの普及や子ども達が安心して遊べる場所が少なくなったことで、「運動能力の低下」といった報告を耳にいたします。オープンプランコースでは、体操教室を生かしながら、園児一人ひとりの発達段階に応じて運動能力の向上を図っております。

“できない”ことの“悔しさ”を繰り返し取り組むことで「できた」時の喜びを自信につなげ、日々の幼稚園の生活にも生かし成長していきます。



# ラーニングセンター



# ラーニングセンターでは、

各領域別に（絵画・言葉・社会・音楽・ムーブメント・数学・科学）バランスよく設定された活動を行います。

子ども達自身があそびを選択し、あそびを通し学んでいく、保育者が中心になるのではなく、子どもが中心となってあそびを広げていく活動です。

子どもが同じ活動を一斉にするのではなく、設定されたいくつかの活動の中から自分のやりたいものを自分で選択して取り組みます。このことにより、子ども達は自分で選択できる事によってただ与えられて行うよりも意欲的に、また自発的に参加し、学ぼうとします。

主として室内には、ホームコーナー・リーディングコーナー・ブロックコーナー・アートコーナー・サイエンスコーナー・マスコーナー、ベランダには、水や砂などに触れ五感を使って遊べるコーナーなどが、その月のテーマに沿って設定してあります。

それ以外にはその時々の子ども達の興味に応じて遊びを紹介することもあります。

自分の大好きなあそびを通してその子が持つ優れた能力を引き出し、少人数でじっくりとあそびに取り組むことで、お友達との人間関係を築き、社会性を育てられる大切な時間であると、考えております。

## 【ラーニングセンター例…】

リーディングコーナー（言葉）： 季節やテーマに関連した絵本をリラックスできる環境で！

マスコーナー（数学的）： パズル・数字・パターンあそび・カードゲームなど

アートコーナー（絵画的）： さまざまな技法を取り入れた絵画的活動

（コラージュ・ペインティング・折り紙・粘土・指先を使ったものなど）

サイエンスコーナー（科学的）

： 磁石・植物・生き物など「なぜ？」と考え発見していけるコーナー

ブロックコーナー（構造・組み立て）

： いくつかのブロックを組み合わせて構造していく力

ホームコーナー（社会性）： 決められた人数の中でかかわりを持てる空間・遊びの展開

テーブル トイ（指先の運動） / ウォーターテーブル（五感・科学的）